

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	HX16	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.590	△RG	0.053	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：HX16

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

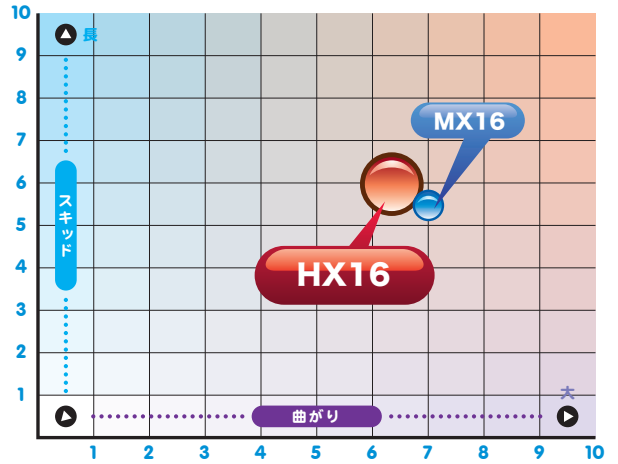
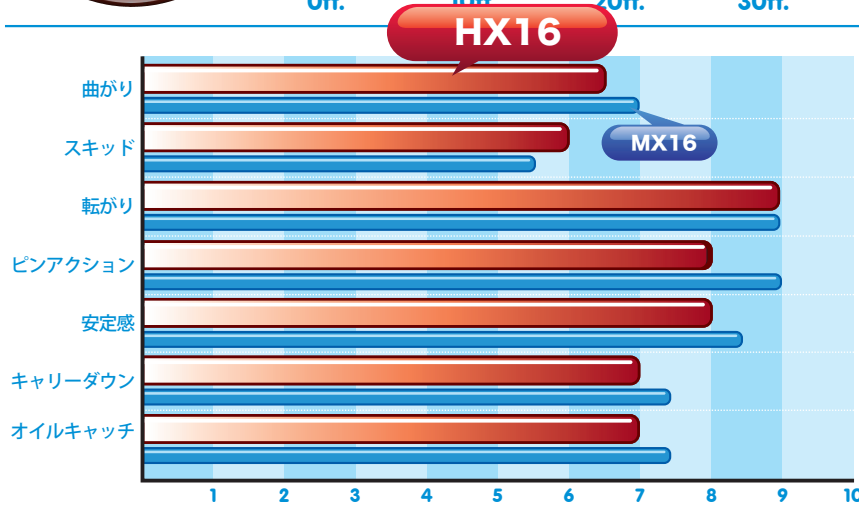
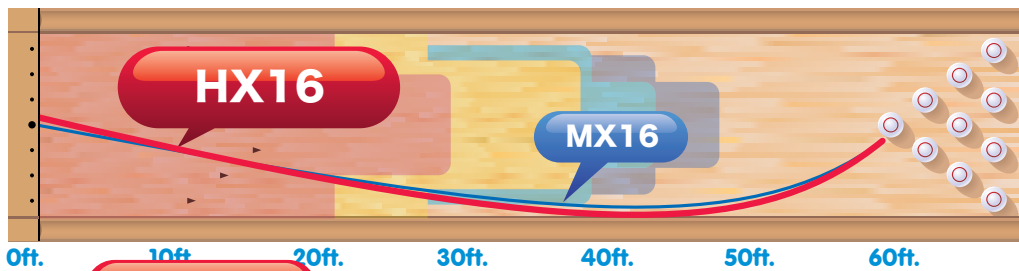
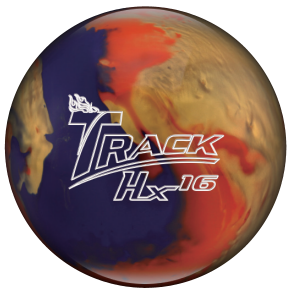
比較対照ボール：MX16

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



ボールの評価

TRACK社のカテゴリー分類でいう”H”(High Lev)は、私も含めミディアムなコンディションや走りを感じたいときに使いやすいパフォーマンス領域であり、曲りが弱く感じたり反応が悪く感じるボールの類ではありません。逆にこのHx16はドライゾーンでのグリップ力がかなり強く出る設定にしているようで、日本人好みの「走ってキレル」イメージがそのまま当てはまる仕上がりになっています。

TRACK社でのDR(Delayed Response)8 Hybrid Reactive CoverstockはDRカバー分類でも数値の高い強いカバーストックに当てはまり、Solid素材とPearl素材を”H”の分布に見合うだけスケールダウンしたHybridカバーストックであることが言えます。特に今回はI-Core (Dual Density)を使いバックエンドでの動きを強調させたからでしょう、ドライゾーンでのグリップ力が今までの反応よりも強く向きを変えるイメージのリアクションを感じます。ですので奥の動きが強い分”曲りが少ない”とかいうイメージとは無縁で、「かなり幅で出し入れ」ができる印象が強く、魅力のあるさまざまなラインを投球したくなるボールだと思いました。Hx16でカバーストックをDR8 Hybrid Reactiveにしたのも、I-Coreとのマッチングの良さも私が感じたものをそのままユーザーに伝えたかったからでしょう。そんなメッセージが込められている感じがします。

Orange / Gold Pearl / Blueの配色はパール素材が中心で綺麗な配色で、転がり感を邪魔しない転がり感が良く仕上がっています。

特記事項

”H”シリーズの中では最も攻撃的にラインを攻める性能に仕上がっています。
 クリーンな走りドライゾーンでの向きの変わり方は使う価値アリのボールです。